

歐洲運賃に就ては大した變化もなかつた。

茶及び護謨運賃は若干昂騰傾向にあり、總印度輸送の半分を占むるコブラは二二二年に至り損失を與へる程度に暴落した。運賃は新嘉坡の海峡ホームワード協議會の相場に影響されたが後者も米國の競争に依り絶へず運賃を引下げねばならなかつた。然し下半期に至つて新嘉坡の協議會は米國船舶院と協定し爲めにコブラ運賃も昂騰し得た。

袋入コブラは二一年十二月に於て一、二〇〇疋當り六十四盾の運賃だつたが、同年十二月の第一週には五十四盾となり更に二〇年一月二十五日には卅五盾迄暴落したが、上記の協約が成立した爲め九月十二日には四十五盾迄回復した。レーテックスの運賃は護謨運賃の基礎で計算されバルクで立方米突當り二十三盾に達した。

二、解 船 業

四大會社から成立してゐた同盟は本年四月に至り一會社が脱退した爲め解散となつた。其結果料金は暴落し相互の競争は激甚となつて損失を與へる事多く遂に十月に至つて再び同業者間の協定が成立した。年初めの數ヶ月は若干良好だつた景氣も月と共に惡化して解船の大部分は繋留されねばならなかつた。

三、倉 庫 業

本年度も一般に貿易の減退に依り空倉庫多く注文少き爲め貸賃も低落した。其上又諸汽船會社は、出来るだけ諸生産者を自己の倉庫に吸収せんと努力した爲め倉庫會社の成績は益々悪くなつた。

汽船會社が一般に出入の荷物取扱を副業として行ひ得る優越な地位にある限り倉庫會社は常に不利益な立場に陥るを免れ得まい。

本年度は倉庫業に於ても解船業と同じく猛烈な料金競争があり、爲めに利益を擧げる事は殆んど不可能であつた。

四、沿岸航路

通し運賃の低落及び物産の低値に依り沿岸航路運賃も低落するの外なく一般的に不景氣裡に年を送つた

一九二二年 蘭領東印度貿易大觀 終

大正十三年十二月廿三日印刷
大正十三年十二月廿五日發行

蘭領東印度貿易大觀
定價 三円五拾錢

著作者

南洋協會

右代表者

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
堀口昌雄

印刷者

東京市麴町區有樂町三丁目五番地
杉山太郎

印刷所

東京市麴町區有樂町三丁目五番地
合資會社 有樂印刷所

發行所

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
南洋協會

不許
複製

南洋研究叢書

第一篇	ロブスタ珈琲	定價二、〇〇	郵稅十二錢
第二篇	改訂蘭領東印度土地法 增補ハルマヘラ島生活	定價二、〇〇	同
第三篇	領内南洋誌	定價二、五〇	同
第四篇	南洋の回教	定價二、〇〇	同
第五篇	蘭領印度商法	定價二、五〇	同
第六篇	南洋協會講演集	定價三、五〇	同
第七篇	蘭領東印度史	定價二、五〇	同
第八・九篇	暗黒ニューギニヤの真相	定價二、五〇	同
第十篇	馬來半島の農業	定價二、五〇	同
第十一篇	續南洋協會講演集	定價二、五〇	同
第十二篇	蘭領印度現行商標條例	實費〇、五〇	同
第十三篇	一九二一年比律賓の農業 度に於ける	實費一、八〇	同
第十四篇	蘭領東印度貿易大觀	定價三、五〇	同
第十五篇	實用蘭和辭典	定價四、〇〇	同
實用蘭語文法		定價四、〇〇	同

發行所 南洋協會

東京市麹町區丸の内通四十號・振替東京三二〇四八番
八四〇二三

- 一、南洋協會の目的
- 二、南洋に於ける産業、制度、社會其他各般の事情を調査すること
- 三、南洋の事情を本邦に紹介し本邦の事情を南洋に紹介すること
- 四、南洋事業に必要な人物の養成をなし、本邦の技術其他學術の普及を計ること
- 五、雜誌其他出版物を發刊し、時々講演會を開くと南洋博物館及圖書館を設けること
- 六、其他必要な事項

南洋協會役員

會長	田健治	男爵
副會長	內田嘉吉	男爵
同會頭	小川平吉	
相談役	江口雅二	
會計監督	井上米治	
專務理事	伊東敬次郎	男爵
理事	東郷光太郎	
	井上敬次郎	
	山崎政次郎	
	藤成政次郎	
	兒玉謙次郎	
	飯泉良三郎	
	石井健三郎	
	新嘉坡日本商品陳列所	
	館長兼新嘉坡支部長	
	關西支部長	
	臺灣支部長	
	南洋群島支部長	
	爪哇支部長	
	スラバヤ支部長	
	商品陳列所長	

東京市麹町區八重洲町一丁目一番地

南洋協會

電話牛込五二五七番
振替東京三二〇四八番

大阪府立商品陳列所内
臺灣臺北市臺灣總督府構内
南洋群島パラオ南洋總構内
南洋協會南洋群島支部
新嘉坡日本商品陳列館内
南洋協會新嘉坡支部
新嘉坡日本商品陳列館

The Japanese Commercial Museum.
No. 44-1 High Street, Singapore.

Kramat 73, Weltevreden, Batavia, Java.
南洋協會爪哇支部

スラバヤ日本商品陳列所
Aloeng Aloeng Tjontong, Soerabaya, Java.

- 一、南洋協會本部發行
（南洋協會本部發行）
（每月一回一日）
- 一、蘭領印度時報
（南洋協會爪哇支部）
（發行每月一回廿日）

一、本會へ入會御希望の方は直接本會本部へ宛電話又は端書にて御通知次第直に規約書並に入會申込書を御送附可致候

二、南洋に關する圖書等御寄贈被下候は、本會は芳名を録して永く保存可致候

三、南洋に於ける企業、其他意見書等、御申請被成下候は、本會に其れが調査研究の任に當り可申候

本會の南洋特產物標本

◆ 實費提供 ◆

◇ 百聞は一見に如かず ◇

今春豫約募集發表と共に大なる歡迎を享け殊に當時の江木文部大臣並澤柳帝國教育會長より推獎の榮を得たる本標本は既に豫約分の發送を終了茲に第二次頒布を開始したり。

全國小中學校の必備すべき好個の標本なることを確信す。

一、説明書添付

二十七種七十三點

定價壹組金貳拾圓

(實景寫眞三十點)

御注文の場合には必ず最寄鐵道驛名並取扱運送店名の御明示を乞ふ。

運賃は總て着拂のこゝ。(客車便にて發送す)

◇ 熱帯を支配するものは世界を支配す ◇

500
3

終